



2021年4月30日

各位

会社名 株式会社スクロール
 代表者名 代表取締役社長 鶴見 知久
 (コード番号: 8005 東証第1部)
 問合せ先 取締役執行役員経営統括部長 杉本 泰宣
 (TEL. 053-464-1114)

通期連結業績予想の修正及び個別業績見込みと前期実績値との差異並びに個別決算における営業外費用の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年1月29日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。なお、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、前期実績値と比較して差異が生じる見込みとなり、また、個別決算におきまして、営業外費用を計上する見込みになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 83,000	百万円 6,400	百万円 6,500	百万円 4,500	円 銭 129.27
今回修正予想(B)	85,195	7,385	7,519	5,183	149.65
増減額(B-A)	2,195	985	1,019	683	
増減率(%)	2.6	15.4	15.7	15.2	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	72,634	2,145	2,296	703	20.46

修正の理由

2021年3月期業績予想につきまして、売上高は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う購買行動の変化や巣ごもり消費の拡大等により、前回予想を上回る見通しです。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、売上原価の低減や販促費のコントロール等の事業効率の向上に向けた施策の効果により、前回の予想を上回る見込みとなりましたので、2021年1月29日に公表した業績予想を上記のとおり修正いたします。

2. 個別業績見込みと前期実績値との差異について

2021年3月期通期個別業績見込みと前期実績値との差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A)	百万円 36,017	百万円 2,271	百万円 2,264	百万円 1,087	円 銭 31.62
当期実績見込み(B)	42,846	5,996	5,712	3,865	111.58
増減額(B-A)	6,829	3,724	3,447	2,777	
増減率(%)	19.0	163.9	152.3	255.4	

(注) 当社は2021年3月期個別業績予想を開示していないため、前期実績値との増減率により適時開示しております。

差異の理由

2021年3月期個別業績見込みにつきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う購買行動の変化や巣ごもり消費の拡大等により売上高が好調に推移するなか、売上原価の低減やコストの改善を推進したことにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は前年実績値を大幅に上回る見通しです。なお、上記には、「3. 個別決算における営業外費用の計上について」の内容を反映しております。

3. 個別決算における営業外費用の計上について

(1) 営業外費用について

当社の連結子会社である株式会社豆腐の盛田屋、株式会社ナチュラピュリファイ研究所及び株式会社トラベックスツアーズにおける新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業活動等への影響を鑑み、当社の個別決算において、貸倒引当金繰入額等 440 百万円（株式会社豆腐の盛田屋 166 百万円、株式会社ナチュラピュリファイ研究所 220 百万円、株式会社トラベックスツアーズ 53 百万円）を営業外費用に計上する見込みとなりました。

(2) 今後の見通し

当該貸倒引当金繰入額等は、個別決算において計上されるものであり、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

なお、上記営業外費用の影響につきましては、上記の「2. 個別業績見込みと前期実績値との差異について」に反映しております。

※ 上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後新型コロナウイルス感染症等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上